

就学援助制度の充実を!

9月議会の途中で国会が解散され総選挙に突入したため、遅れましたが9月議会の報告をいたします。
今号では、平野市議の質問のうち「子育て問題」と「図書館・美術館」について報告します。

入学準備金の増額と

3月支給が実現

就学援助の申請は入学後に行われていたため、入学準備金も入学後にしか支払われていませんでした。

平野市議の質問に対して、市は「来年度の入学案内に申請書を同封し、来年2月には受付・審査を行い、2月下旬から3月には支給できるようにしたい」と答弁しました。

入学準備金も増額

準備金の金額も次のように増額されました。

《小学校》

20,470 円⇒40,600 円

《中学校》

23,550 円⇒47,400 円

★対象になる方は遠慮することなくすぐ申請しましょう。

就学援助制度とは

経済的に困難を抱えている家庭の児童・生徒に支給されます。

【対象】生活保護基準の1.2倍以下の家庭。受給している児童・生徒数は年々増えており、平成28年度では、小学校で17.7%、中学校で24%の児童生徒が受給しています。

【支給項目】入学準備品費、学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費、生徒会費、PTA会費など。

認定基準の引き上げを!

現在の別府市の認定基準は「世帯収入が生活保護基準の1.2倍以下」です。平野市議は厚労省調査(下表)を示し、「3分の2の自治体は1.3倍以上、別府市も引き上げを」と求めました。

平成27年度準要保護基準調査(厚労省調査)

認定基準	自治体数 (1,260)
～1.1倍以下	206 (16.3%)
～1.2倍以下	225 (17.8%) ……別府市
～1.3倍以下	626 (49.7%)
～1.4倍以下	26 (2.1%)
～1.5倍超	161 (12.8%)
その他	5 (0.4%)

※1,260以外の自治体は、その他の認定基準で対応

日本共産党別府市議団

平野文活 (21-6749) 竹内よしひろ (24-8061)

2017年11月16日(木)

別府市石垣西8丁目2-31

TEL22-6576 Fax23-6529

げんきニュース

NO, 716

図書館・美術館

「一体的整備」とは？

【平野】今年3月に出された「基本構想」には、

「相互に自由に横断する利用が可能になる」「どこまでが無料で、どこまでが有料なのかをわかりやすく」「運営の一体化」「全体をマネジメントできる人材が必要」「司書や学芸員など両者の専門性を活用する」などと書かれている。

これは、同じ建物の中に図書館も美術館もあり、入口も職員体制も一緒という意味なのか。

【答弁】基本構想段階では、一体的整備のメリットと課題をあげている。建設場所や設計についての具体的な方向性については掲載されていません。

【平野】今後のスケジュールはどうなるのか。建設場所や「一体的整備」の具体化、費用の概算などは、いつごろ示せるのか。

【答弁】今年10月から「庁内検討委員会」を開いて、建設候補地や事業手法を検討します。検討状況はその都度、HPで公表し、市民参加ですすめます。来年度（H30年度）には「基本計画」を策定し、パブリックコメントなどを実施する予定です。

→
浦安中央図書館

斉藤潤子図書館
長が説明、館内案
内をしてしてくれ
ました ↓



長野市長は選挙公約で「図書館・美術館の一体的整備」を掲げ、検討を始めています。
平野市議は「一体的整備とは具体的にはどういうものか」と質問し、「広く市民の声を聞きながら具体化をすすめるよう」強く求めました。

日本共産党の提案

1、まず一番に、図書館・美術館について、市民の要望を聞くこと。

電話、手紙、FAX、メールなどで「図書館・美術館についての意見・要望」を受け付け、すべての声を公開し、検討・建設経過が見える化すべきです。

庁内検討委員会や基本計画策定委員会だけで決めるべきではありません。

2、施設は簡素でも、充実した職員体制で、市民サービスに徹した図書館・美術館に。

『げんきニュース NO,711』で報告した浦安市図書館は、正規職員33人、非正規118人で、7つの分館、3駅で注文・返本ができ、病院患者や障がい者への宅配など、徹底した市民サービス。驚きの図書館でした。